

ハンドドライヤー **ジェットタオル**®

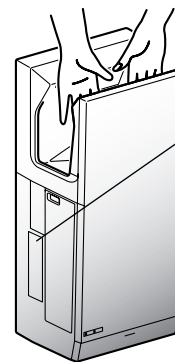
形名

JT-SB116JH (簡易ヒーター付) 交流100V専用

JT-SB116KN (ヒーターなし) 交流100V専用

JT-SB216JSH (簡易ヒーター付) 単相200V専用

JT-SB216KSN (ヒーターなし) 単相200V専用



形名表示位置
電源電圧表示位置

本体色 -W (ホワイト)、-H (ダークグレー)、-S (シルバー)

※JT-SB216JSH、JT-SB216KSN形はホワイト色のみです。

据付工事説明書 **販売店・工事店様用**

据付工事を始める前に必ずこの据付工事説明書をお読みになり、正しく安全に据付けてください。

据付工事は販売店様、または専門の工事店様が実施してください。

別売品	接続工事
ヒーターユニット (JP-110HU2-H) : JT-SB116KNのみ据付け可 (JP-210HU2-H) : JT-SB216KSNのみ据付け可	ジェットタオル本体を固定する前
スタンド (JT-SB116KN用 : JP-S21FS2-H JT-SB116KN+JP-110HU2-H用 : JP-S06FS2-H JT-SB116JH用 : JP-S21FS2-H JT-SB216KSN用 : JP-S21FS2-H JT-SB216KSN+JP-210HU2-H用 : JP-S06FS2-H JT-SB216JSH用 : JP-S21FS2-H)	
カウンター取付部材 (JP-UB01)、自動ドア連動回路ボックス (JP-100RD2)、タイマー受信ユニット (JP-TU03)	

※詳しくはJP-110HU2-H、JP-210HU2-H、JP-S21FS2-H、JP-S06FS2-H、JP-S11AT、JP-UB01、JP-100RD2、JP-TU03の据付工事説明書をお読みください。

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。必ずお渡しください。

安全のために必ず守ること

● 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。



警告

誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 塩害地域、腐食性ガス・中性ガス・還元性ガスが存在する場所には据付けない (故障の原因になります) ● 電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしない また、重い物を載せたり、挟み込んだりしない (電源コードが破損し、火災・感電の原因になります) 	 指示に従う	<ul style="list-style-type: none"> ● 交流100Vで使用する (JT-SB116JH、JT-SB116KN形) ● 単相200Vで使用する (JT-SB216JSH、JT-SB216KSN形) (間違った電源を使用すると火災・感電・故障の原因になります) ● アース線を接続しない (誤動作や故障の原因になります)
 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 本説明書に記載されていない分解や改造はしない (火災・感電・けがの原因になります) 		<ul style="list-style-type: none"> ● コンセントで使用する場合、15A以上で単独とする ● 電源が屋内配線の場合は専用配線とする (他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります) (JT-SB116KNでは20Aコンセントに2台設置することができます)
 風呂・シャワー室での使用禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 浴室など湿気の多い場所や、結露する場所、直接水のかかる場所には据付けない (感電・故障の原因になります) 		<ul style="list-style-type: none"> ● 漏電しゃ断器を必ず取付ける (感電するおそれがあります)
 指示に従う	<ul style="list-style-type: none"> ● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って確実に (誤った配線工事は感電・火災のおそれがあります) 		<p>※漏電しゃ断器推奨品 (地絡保護用) 三菱電機製NV-G2N (単相2線式、定格電圧AC100-200V両用、定格電流30A、定格感度電流15mAタイプ)</p>

⚠ 注意

誤った取り扱いをしたときに軽傷または
家屋・家財などの損害に結びつくもの



禁止

- 製品(電源ケーブル)に通電した状態で据付工事をしない

(感電するおそれがあります)



指示に従う

- 本体の据付工事は、十分強度のあるところを選んで確実にを行う

(落下によりけがをするおそれがあります)

- 据付けの際は手袋を着用する

(着用しないとけがをするおそれがあります)

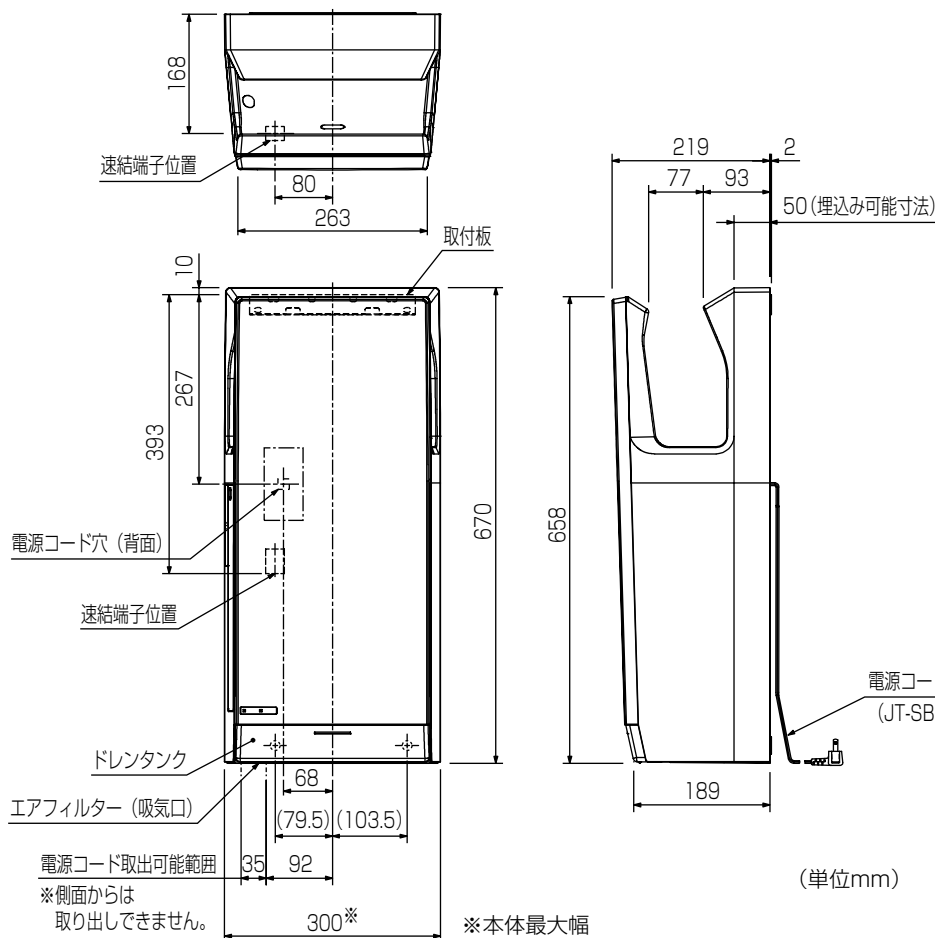
据付前のお願い

■ つぎのような場所には据付けないでください。

(故障の原因になります)

- 屋外
 - 0℃未満になる場所
 - ほこりの多い場所
 - 40℃以上になる場所
 - 結露する場所
 - 塩害地域
 - 乗りもの
 - 直接水がかかる場所
 - 腐食性ガス・中性ガス・還元性ガスが存在する場所
 - 食材・食器等の近く
 - 厨房
- (水滴がかかるおそれがあります)
- 日光・強い光が当たる場所
- (センサーが誤作動するおそれがあります)
- 消毒槽のある部屋、プール、浴室

各部のなまえと外形寸法図



付属部品	
取付ネジ	6本
(5×30タッピング1種)	
取付板	1個
コードクリップ	1個
固定ネジ	1本

据付条件

■ 据付位置について

- 使用しやすいよう右図の位置に据付けてください。
据付け高さが低いと床面掃除の際、水がかかりやすくなります。本体内部に水を吸い込んだ場合には、故障の原因や吸音材が吸湿して菌が繁殖する場合があります。
- 本体下部に床および障害物等がある場合は空きスペースを最低 130mm 以上あけてください。
注意 • 下方 130mm 以上あげないと、ゴミや水を吸い込んで故障するおそれがあります。
- 本体左面には電源操作部とドレン水路がありますので、左面と壁との間は必ず 150mm 以上あけてください。（左面は 200mm 以上あげると、ドレン水路をより清掃しやすくなります）
- 本体右側面の近くに鏡および壁等のないようにしてください。手乾燥時、水滴が飛ぶことがあります。
- 人がぶつかり易い場所やドア等があたる場所は避けてください。
- 製品を据付ける壁は、段差のない平らな場所を選び、据付けてください。コンクリート壁以外の壁は補強を行った上で据付けてください。（20mm 程度の木の板を入れてください）
- 本体取付ネジを締め付ける際、プラスドライバーの軸長（ビット）は 150mm 以上のものを使用してください。
- コンクリート壁に据付ける場合は、市販の金属製ネジプラグ（カールプラグ等）を使用して据付けてください。
- 水滴が飛ぶおそれがありますので、食材、食器等の近くには据付けないでください。
- スタンド（別売品）を用いて据付ける場合も、壁に沿って設置してください。

■ 建物の壁面や燃えやすい物（可燃物）からの離隔距離は右表に掲げる数値以上の距離を保ってください。

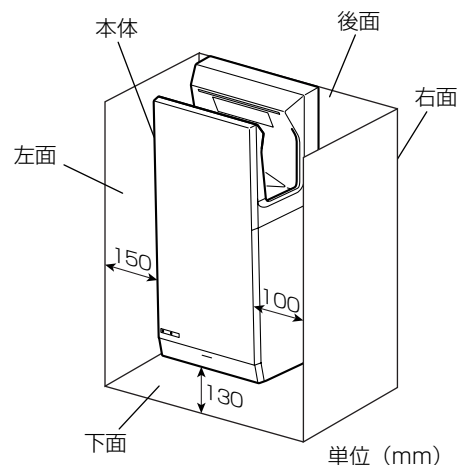
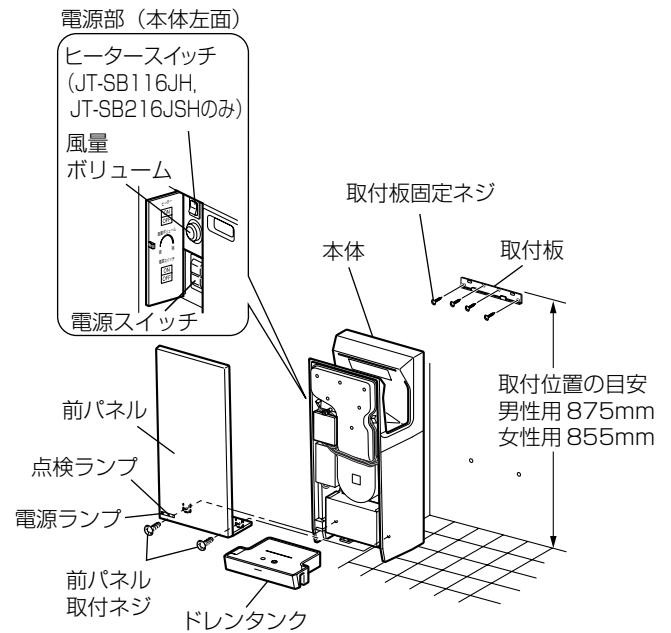
※左面は200mm以上あげると、ドレン水路をより清掃しやすくなります。

■ 埋め込み形カウンターへ設置する場合

※本機を対応したカウンターに据付ける場合は、カウンター取付部材（JP-UB01）をご購入ください。

据付け方法はカウンター取付部材（JP-UB01）の据付工事説明書をご覧ください。

※カウンターに据付けた場合、次亜塩素酸ナトリウムでの本体清掃はできません。



場所	離隔距離
上方	開放
左方	150mm
右方	100mm
前方	開放
後方	—
下方	130mm

据付方法

コンセントを使う場合と専用配線工事をする場合とがあります。

JT-SB116JH, JT-SB116KN	JT-SB216JSH, JT-SB216KSN
交流100Vを使用 コンセントまたは専用線で配線	単相200Vを使用 専用線で配線

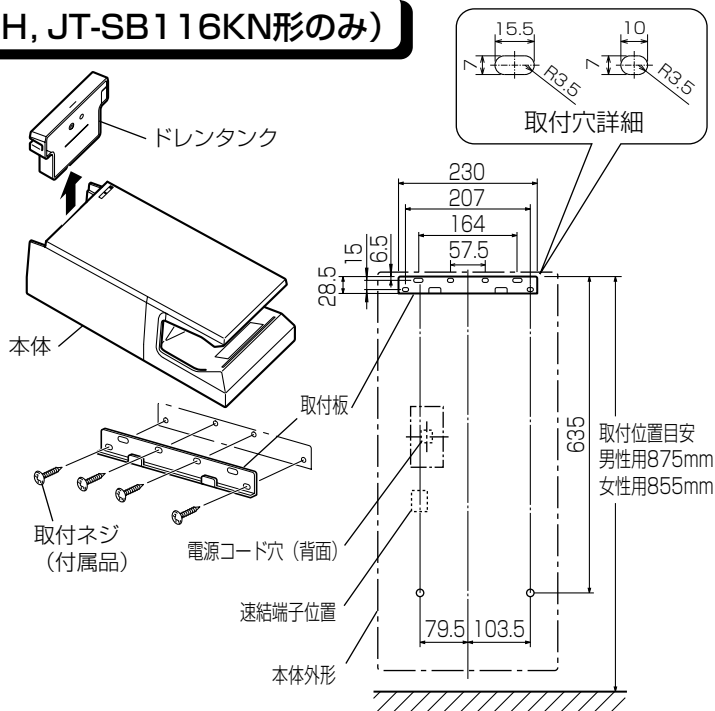
コンセントを使う場合 (JT-SB116JH, JT-SB116KN形のみ)

ドレンタンクを取りはずす。

取付板を付属の取付ネジ4本で壁に固定する。

- 右図に示す取付ネジの位置は推奨です。
- コンクリート壁に据付ける場合は、市販の金属製ネジプラグ（カールプラグ等）を使用して据付けてください。
- コンクリート壁以外の壁は補強を行った上で据付けてください。

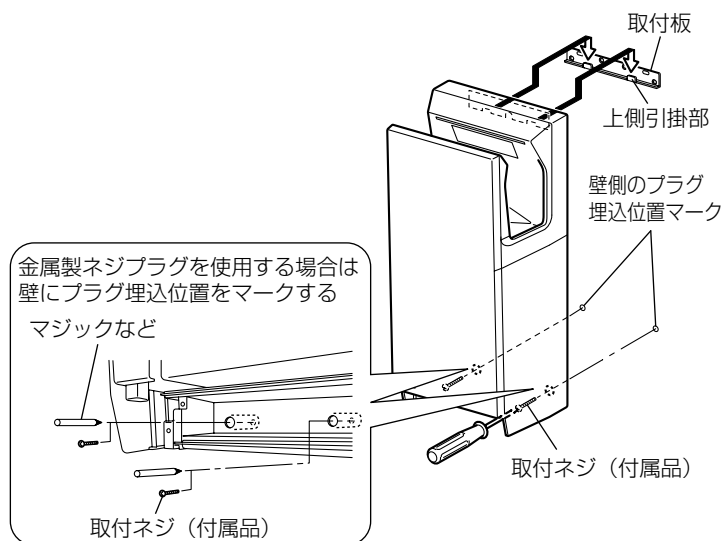
注意 ●本体下部に床および障害物等がある場合は、空きスペースを最低130mm以上空けてください。
ゴミや水などを吸い込むと、本体が故障するおそれがあります。



本体を固定する。

取付板の引掛部（2か所）に本体背面を引掛け、本体を壁側に軽く押しつけながら付属の取付ネジ（2本）で固定する。

- コンクリート壁に据付ける場合は、下記の手順で市販の金属製ネジプラグ（カールプラグ等）を使用して据付けてください。
 - ①取付板に本体を仮置きする
 - ②取付ネジの穴からペンなどで壁に穴位置をマーキングする
 - ③本体を取りはずし、マーキングした位置に市販の金属製ネジプラグ（カールプラグ等）を埋め込む
- 付属の取付ネジを締め付ける際、プラスドライバーの軸長（ビット）は150mm以上のものを使用してください。
- コンクリート壁以外の壁への固定は補強を行った上で据付けてください。

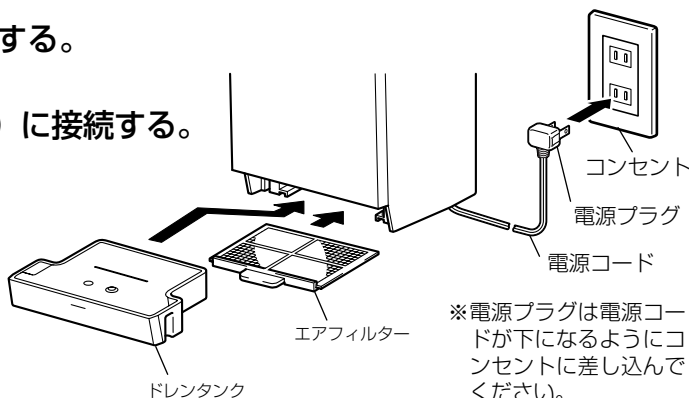


注意 ●市販のφ4ネジを使用する場合は、ワッシャー（外径φ10以下）でガタつきを防止してください。

1. エアフィルターが奥まで入っているか確認する。
2. ドレンタンクを元通り取付ける。
3. 電源プラグを専用コンセント（交流100V）に接続する。

警告

- 交流100Vで使用する
(JT-SB116JH, JT-SB116KN形)
(間違った電源を使用すると火災・感電・故障の原因になります)
- アース線を接続しない
(誤動作や故障の原因になります)



据付方法 つづき

専用配線工事の場合

■電源はJT-SB116JH, JT-SB116KN形は交流100Vをご使用ください。JT-SB216JSH, JT-SB216KSN形は単相200Vをご使用ください。間違った電源を使用すると基板焼損、火災の原因になります。

■電源ケーブルは、単線φ2またはφ1.6のVVFケーブルを使用してください。

(電源ケーブルが11mを越える場合には、電圧降下を考慮して、極力φ2の電源ケーブルを使用してください)

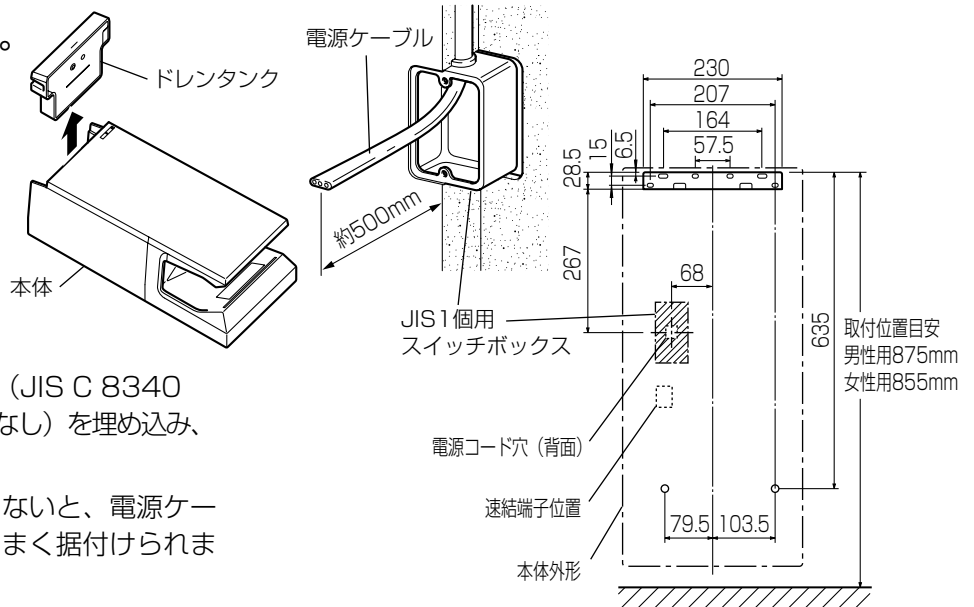
警告

- 交流100Vで使用する (JT-SB116JH, JT-SB116KN形)
- 単相200Vで使用する (JT-SB216JSH, JT-SB216KSN形)
(間違った電源を使用すると火災・感電・故障の原因になります)
- アース線を接続しない
(誤動作や故障の原因になります)

注意

- 製品 (電源ケーブル) に通電した状態で据付工事をしない
(感電するおそれがあります)

1 ドレンタンクを取りはずす。



配線工事をする。

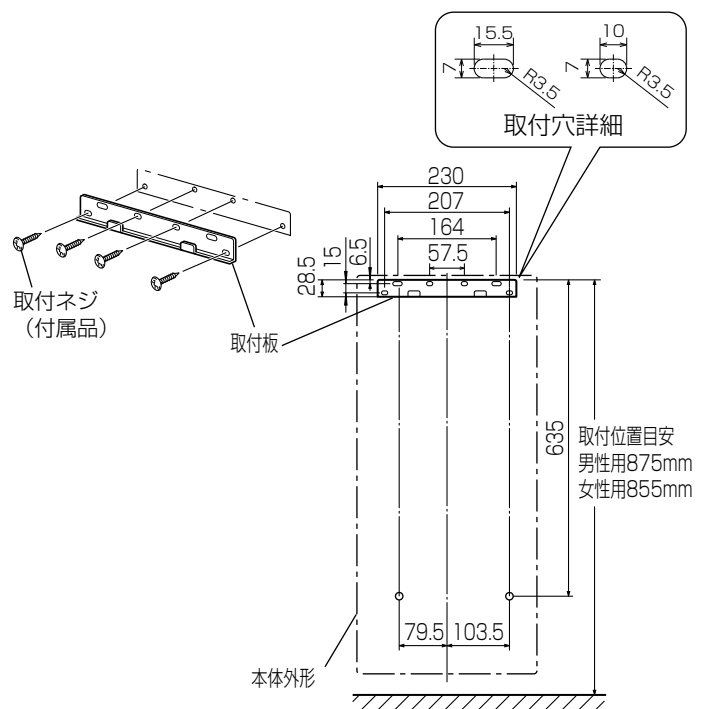
据付位置にスイッチボックス (JIS C 8340 1個用スイッチボックスカバーなし) を埋め込み、電源ケーブルを配線する。

- スイッチボックスを使用しないと、電源ケーブルが本体を押し出してうまく据付けられません。

2 取付板を付属の取付ネジ4本で壁に固定する。

- 右図に示す取付ネジの位置は推奨です。
- コンクリート壁に据付ける場合は、市販の金属製ネジプラグ (カールプラグ等) を使用して据付けてください。
- コンクリート壁以外の壁は補強を行った上で据付けてください。

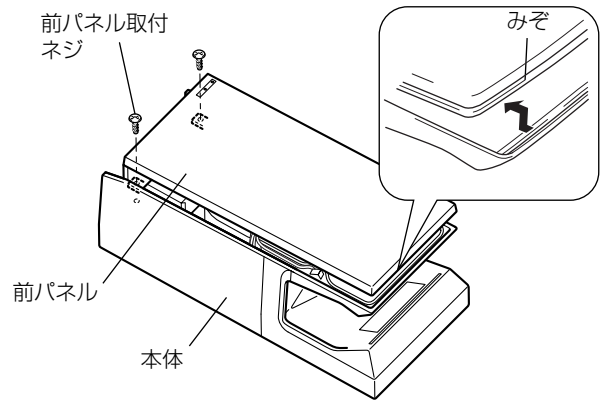
注意 ●本体下部は空きスペースを最低130mm以上空けてください。ゴミや水などを吸い込むと、本体が故障するおそれがあります。



3

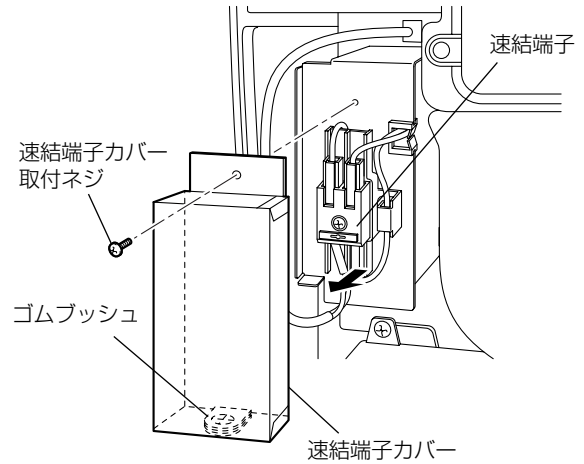
1.前パネルを取りはずす。

- (1) 前パネル取付ネジ (2本) をはずす。
- (2) 前パネルのみぞを本体からはずし、前パネルを取りはずす。



2.速結端子カバーを取りはずす。

- 速結端子カバー取付ネジ (1本) をはずし速結端子カバーを手前に引き出す。
 ※ゴムブッシュはなくさないください。

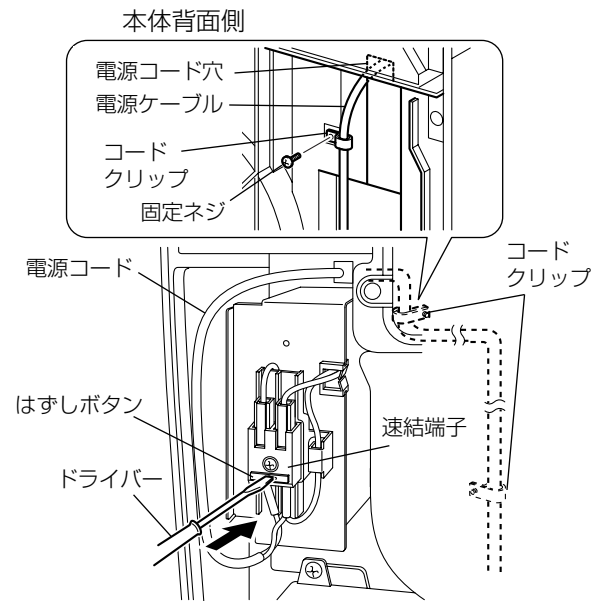


4

JT-SB116JH, JT-SB116KN形のみ

速結端子に接続されている電源コードをはずす。

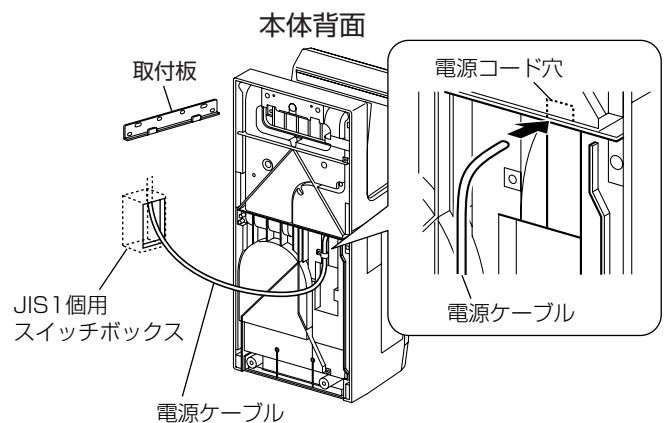
- (1) 速結端子のはずしボタンをマイナスドライバーで押しながらか電源コードを引張ってははずす。
 ※確実にはずしボタンを押してください。
 無理に引張ると速結端子が壊れるおそれがあります。
- (2) 本体背面のクリップをはずし、電源コードを引き抜く。(上下2か所)



5

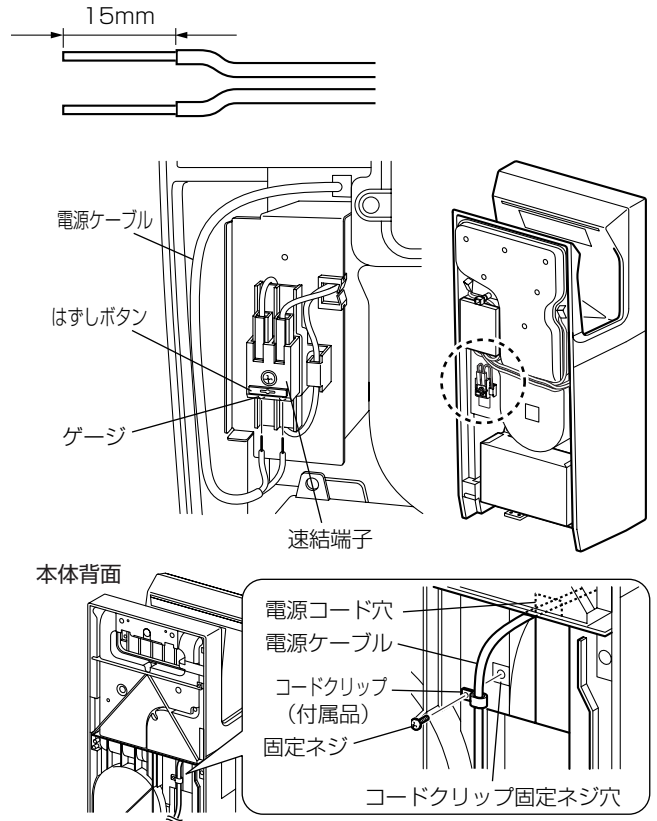
専用配線の電源ケーブルを本体内に引き込む。

- 本体背面の電源コード穴に、専用配線の電源ケーブルを通す。



警告

- 交流100Vで使用する
(JT-SB116JH, JT-SB116KN形)
- 单相200Vで使用する
(JT-SB216JSH, JT-SB216KSN形)
(間違った電源を使用すると火災・感電・故障の原因になります)
- アース線を接続しない
(誤動作や故障の原因になります)



6

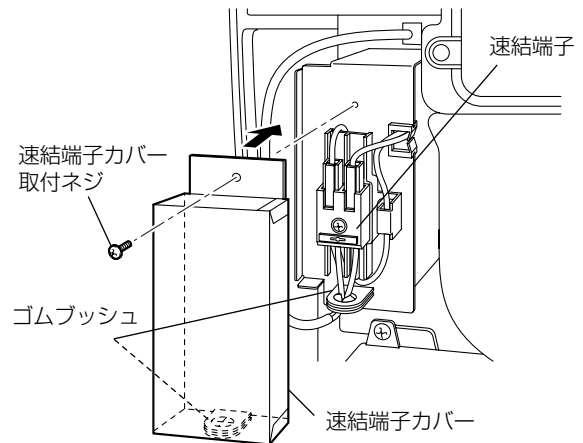
速結端子に結線する。(極性なし)

- (1) 速結端子にあるゲージに合わせて、電源被ふくを15mm皮むきする。
- (2) 電源ケーブルを速結端子に確実に差し込む。
- (3) 速結端子への結線が確実に差し込まれているか確認する。電源ケーブルは必ず単線のものを使用してください。より線をハンダ付けして速結端子に差し込まないでください。(火災・感電・故障の原因になります)
- (4) クリップ固定ネジ穴を使用して、付属のコードクリップ、固定ネジで電源ケーブルを固定する。

7

速結端子カバーを取付ける。

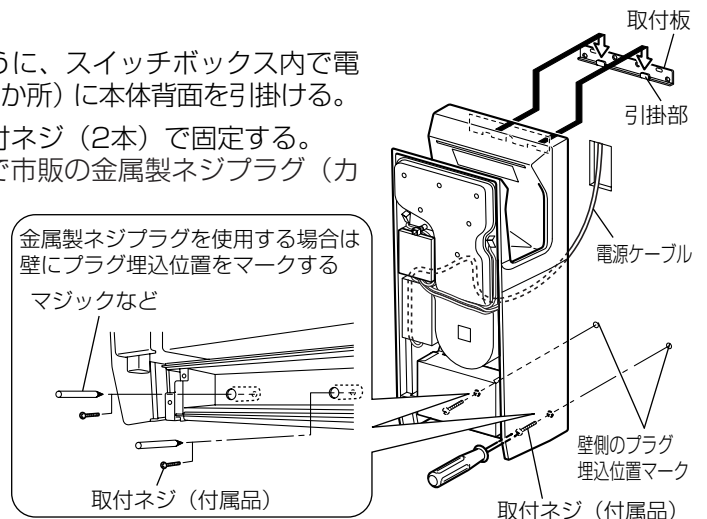
- (1) 電源ケーブルをゴムブッシュを通して、速結端子カバー取付ネジで元通り本体に取付ける。
- (2) 電源ケーブルおよび電線をはさみ込んでいないことを確認する。
 - 速結端子カバーの表面(手前側)に電線があると、前パネルが取付けられません。速結端子カバーの左側へ電線を移動してください。



8

本体を固定する。

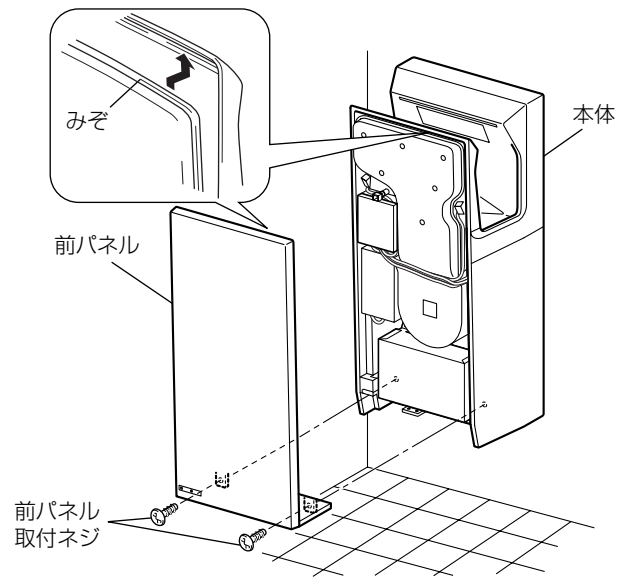
- (1) 本体背面で電源ケーブルをはさみ込まないように、スイッチボックス内で電源ケーブルの長さを調節し、取付板の引掛部(2か所)に本体背面を引掛ける。
- (2) 本体を壁側に軽く押しつけながら、付属の取付ネジ(2本)で固定する。
 - コンクリート壁に据付ける場合は、下記の手順で市販の金属製ネジプラグ(カールプラグ等)を使用して据付けてください。
 - ①取付板に本体を仮置きする
 - ②取付ネジの穴からペンなどで壁に穴位置をマーキングする
 - ③本体を取りはずし、マーキングした位置に市販の金属製ネジプラグ(カールプラグ等)を埋め込む
 - 付属の取付ネジを締め付ける際、プラスドライバーの軸長(ビット)は150mm以上のものを使用してください。
 - コンクリート壁以外の壁は補強を行った上で据付けてください。



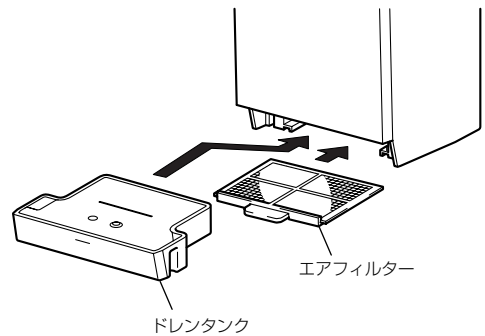
注意 ●市販のφ4ネジを使用する場合は、ワッシャー(外径φ10以下)でガタつきを防止してください。

1.前パネルを取付ける。

- (1) 前パネルのみぞを本体にはめ込む。
- (2) はずしたネジ（2本）で元通り本体に取付ける。
- (3) 前パネルが確実にハマっていることを確認する。



- 2.エアフィルターが奥まで入っているか確認する。
- 3.ドレンタンクを取付ける。



試運転

	手順	確認内容	チェック
1	電源電圧を確認する	●正しい電源を使用していますか？ （JT-SB116JH, JT-SB116KN形：交流100V JT-SB216JSH, JT-SB216KSN形：単相200V） 間違えると故障の原因になります。	
		●アース線を接続していないことを確認してください。	
2	電源プラグをコンセントに差し込む または漏電しゃ断器を「入」にする	電源プラグは確実に差し込まれていますか？ （JT-SB116JH, JT-SB116KN形のみ）	
3	電源スイッチを「ON」にする	表示部の電源ランプは点灯していますか？	
4	手を入れて乾かす	風が吹き出していますか？	
5	手を入れたまま風量ボリュームを回す	風量が変わりますか？	
6	ヒータースイッチを入れる （JT-SB116JH, JT-SB216JSH形の場合）	温風は吹き出していますか？ （室温が約30℃以上の場合、ヒータースイッチを入れてもヒーターは動作しません） ※簡易ヒーターのため、室温が20℃以下の場合、温風感が損なわれます。	
7		本体の据付けが確実で、振動・異常音はありませんか？	

※手を入れた状態で電源スイッチを「ON」にしないでください。

※表示部の点検ランプが点灯または点滅状態のときは、いったん電源を切って、表示ランプが全て消灯したのを確認してから1分経過した後、再度電源スイッチを入れ直してください。